

平成28年度第5回市民活動団体支援制度審査会

開催日時 平成29年1月24日(火) 午前10時から

開催場所 生駒市コミュニティセンター 404号室

出席者

(委員) 中川委員、北浦委員、宮西委員、谷野委員、森委員、平井委員

(事務局) 平田市民活動推進課長、金子市民活動推進課長補佐、西野市民活動推進センター所長、西田市民活動推進センター係員

案件1 補助金交付確定にかかる事業報告書審査

(最初に事務局より事業報告概要説明)

団体番号5 一棋会

事業名 将棋プロの指導教室(一棋会20周年記念事業)

【事務局】 7月31日、たけまるホール小ホールにて開催しました。

内容としては、申請時と同様プロの棋士2人による講話と、指導対局を行い、入場者75名、うち会員38人、対局者26名、うち会員13人となっております。なお、子どもの参加ですが、75人中26人の参加となりました。

大人と子どもで対局するなど、世代間の交流にもなっていると報告を受けています。

収支について説明いたします。総事業費は予算時より1,650円高い133,990円となり、支援金額は交付決定額通り54,820円となっております。

内訳について、申請時からの大きな変更といたしまして、消耗品費が9,043円増加しております。これは、当初想定外だったプリンターのインク代金が主で、それ以外に文具代などが必要となったためです。

団体番号6 アトリエくじらのクー

事業名 ハンディキャップを持つ子どもの為のワークショップ

【事務局】 8月13日、14日の土日曜日に、花のまちづくりセンターふろーらむで

行われました。内容としては、申請時と同様、紙粘土やワイヤーでできる羽が動く「パタパタ鳥」を作り、お花畑の絵とともに、8月16日から8月28日に展示をしました。参加者数ですが、8月13日は53人、14日は60人の合計113人となっております。子どもの表現力を発揮し、他者の表現に感化されたり、一緒に作品を作る喜びを味わえたと報告を聞いています。

収支について説明いたします。総事業費は予算時より22,543円高い142,543円となり、支援金額は交付決定額通り60,000円となっております。

内訳について、賃金が10,500円、消耗品費が11,489円増加しております。これは参加者が予定人数を超えたことによる有償ボランティアの増員と、製作資材費の増加によるものです。

団体番号11 いこま婚育プロジェクト

事業名 婚活ピザ教室～結婚前に知っておくと役立つことを学ぼう～

【事務局】 9月10日に、たけまるホールで行われました。

内容としては、申請時と同様、ピザ作りの料理教室と結婚教育についてのセミナーを行い、事業日もその後も、日本結婚教育カウンセラー協会認定のカウンセラーによるカウンセリングを実施しました。参加者は独身男女で、男性12人、女性17人が参加され、イベント後のフォローカウンセリング受講者は4人。また2組のカップルが成立し、そのうち1組は3月に結婚を予定していると報告を受けております。

収支について説明いたします。総事業費は予算時より16,152円低い83,893円となり、参加費の事業収入58,000円を除いた支援金額は25,893円となっております。

内訳について印刷製本費20,000円が計上されず、同額が委託料として新たに追加されているものについては、チラシのデザインまであわせて業者に依頼したことによるものです。

団体番号12 いこまジュニアソフトテニスクラブ

事業名 小・中学生ソフトテニス親子ペア大会

【事務局】 9月24日(土)に、生駒市民体育館で行われました。内容としては、午前中の実業団選手による講習会と、午後の親子ペア大会の二部構成としていましたが、午後の部については参加者がいなかったため、団体構成員による練習とゲームに変更されました。午前の部の参加者は小学生33人、中学生1人となっております。参加者がいなか

った要因について、当日は、市内の様々な小中学校で運動会やクラブ活動が行われたことがあげられます。

収支について説明いたします。総事業費は予算時より572円低い95,928円となり、支援金額は、支援対象経費が47,656円低いことなどから、24,442円となっております。

内訳について、消耗品費の支援対象経費が35,520円低いことについては、参加者が少なかったことに伴う、ボールの購入個数の減少がございませう。使用料については、午後の部で使用する体育館の使用料が、支援対象外経費となったため、3,730円減少しております。

団体番号14 生駒市市民劇団シアターいこま

事業名 28回公演『夏の夜の夢』

【事務局】 7月24日(日)に、生駒市北コミュニティセンターISTAはばたき、はばたきホールで行われました。

内容としては、申請時と同様に、7月2日に開催したワークショップ参加者11人と一緒にステージでシェイクスピア原作の作品を演じました。当日は2回公演で、大人320人、子ども60人の合計380人が来場し、演劇という芸術が身近にある地域社会の実現に向けて事業を実施されました。

収支について説明いたします。総事業費は予算時より238,783円低い761,217円となり、支援金額は交付決定額通り354,608円となっております。

内訳について、消耗品が71,897円減少しておりますが、これは、持ち合わせの小物などを使用して経費を削減したためです。また、委託内容について精査したことや練習用の会場費をおさえたりしたことにより委託費、使用料も減少しております。

団体番号15 子どもミュージカル CLAP CLAP FANTASY

事業名 子どもミュージカルCLAP CLAP FANTASY 第1回自主公演『オリジナルミュージカル・天女の羽衣』～子どもたちとステージで輝こう！！～

【事務局】 11月19日(土)に、生駒市南コミュニティセンターせせらぎ せせらぎホールで行われました。内容としては、申請時とほぼ同じワークショップを行い、その参加者と一緒にステージでミュージカルを開催するというものです。変更点としては、ワークショップの参加希望者が多く、回数を2回から4回に増やしております。参加者はワークショップが計72人、ミュージカル来場者が137人となっております。広報活動に

力を入れ、当初生駒市北部での認知度が高い団体活動が市全域に広まり、親子のコミュニティが広まったと報告を受けております。

収支について説明いたします。総事業費は予算時より147,598円高い745,098円となり、支援金額は、交付決定額通り298,750円となっております。

内訳について、初めての大型自主企画ということで、事業計画と実際の事業に大きな差異が生まれています。報償費の計上がないのは講師の方が無償で来られたことに伴うもの。保険料の計上がないのは、イベント単体の保険ではなく、団体として加入する保険に入っており、対象外経費となったものです。また、ミュージカルの規模が大きく消耗品費が増加したことや、生後6ヶ月～2歳の子どもを対象としたワークショップが2日増えたことや、ステージ操作代、ブーケ代が当初の予定よりも高かったことから使用料の増加がございます。

団体番号22 生駒精神障害者ひだまり後援会

事業名 トーク&ライブひだまり2016」

【事務局】 11月26日(土)に、生駒市コミュニティセンター文化ホールで行われました。

内容としては、二部構成となっており、一部は精神障害当事者10人による発表としてピアノ・ギター等の演奏。二部は、障がい者福祉に理解あるヴァイオリニスト金関環さんによるコンサートを開催し、約220人が参加されました。

収支について説明いたします。総事業費は予算時より23,913円高い389,913円となり、支援金額は、交付決定額通り178,000円となっております。

内訳について消耗品費が23,459円高くなっております。これは、当日会場に設置したキッズスペース用品を購入したためです。また、印刷費用が56,563円の増加しております。これは、当日配布用の資料が増えたことによるものです。

以上7団体の説明を終わらせていただきますので、各団体の内容につきまして、ご審議いただきますようお願いいたします。

【中川会長】 それでは、宮西委員からお願いいたします。

【宮西委員】 今回の7団体は問題なく事業を実施されて、お金の方もきっちり使っていただいているという感想で、全体的には大丈夫だと個人的には思いました。一棋会など今回初めての団体が参加され、実際に事業をする様子などの写真もつけていただいている

のですごく分かりやすいと思います。個人的な感想ですが、初めて将棋に触れられるような方でも入り込みやすいような企画もあればよかったかと少し感じましたけども、あくまでも感想レベルです。何も問題なかったと思います。

【中川会長】 ありがとうございます。では、谷野委員お願いいたします。

【谷野委員】 どちらの団体も参加者が増えているということで、制度が根づいてきたのかと思いました。皆様すごく有効に補助金を使われているという感じを受けることができました。

ただ、やはり人数が増えることによって自主財源が増えてしまうのが少しかわいそうな気がします。今後は届出による支援金額の話をされる時にもう少しアドバイスしていただいた方がいいかと思います。どの事業もとてもいいと思いますが、自主財源の負担をどなたかがされているのは少し心配です。

【中川会長】 では、北浦委員どうぞ。

【北浦委員】 私も全体的にはこれでいいのではと思いました。今言われたようにたくさんの方が参加されているなと思いました。私も参考にしたいぐらい多くの方に浸透していて参加も増えているのかと思いました。

全体の事業規模の金額が少ない、交付金が数万のところでも同じ書類を作らないといけないというのは大変だと思います。費用対効果的にみても大変ですので、何かもう少しうまくいかないかと少し思いました。

あとは生駒ジュニアソフトテニスクラブです。参加者が集まらなくて成立しなかったというのがありました。申し込みで行っているのであれば、少しアレンジした形で対応できるような、何かがなかったのかと思いました。当日しか分からないというのであればやむを得ないですが、申し込みがなかった時点で小学生の部をもう1回やるというような、何か工夫の仕方で事業を生かせるやり方はなかったのかというのは少し思いました。

【中川会長】 ありがとうございます。では、森委員、どうぞ。

【森委員】 おおむねよく実施されていると思っており、これで良いと思っております。そこでいくつか感想ですけども、生駒市民劇団シアター生駒と子どもミュージカル CLAP CLAP FANTASYは、うまくワークショップをした後に参加していますね。それと生駒精神障害者ひだまり後援会も、障がい者の方のパフォーマンスを行ってから金関さんが演奏するなど、うまく参加する形になっていると感じました。少し思ったのが、既存のグループの体験的な物が、一棋会にしても、アトリエくじらのクーにしても、生駒ジュニアソフト

テニスクラブにしてもあると思いました。その中で生駒ジュニアソフトテニスクラブがメンバーとメンバー以外というのを書いていたかどうか分かりませんが。メンバー以外がどれぐらい来てくれたのか少し思うところがありました。そのことはやはり少し企画が弱かったような気がします。以上です。

【中川会長】 ありがとうございます。平井委員、どうぞ。

【平井委員】 委員の方々に、私の思っていることをどんどん言っていただきました。例えば一棋会の関係で入場者75名のうち会員38名と理想的に過半数を上回る数字で、生駒ジュニアソフトテニスクラブの方はそれが評価されていない。それは事務局の方で、今後聞いておいてもらいたいと思います。後、生駒精神障害者ひだまり後援会は、予想していたより参加者が多くなって持ち出しが多くなった。これは何か非常に気の毒な気がします。あまり大風呂敷を広げるような形で申請してもらうのもどうかと思いますけども、計画をもう少し出していたら良かったとは思っております。おおむね、非常に頑張っているという思いです。

【中川会長】 ありがとうございます。となりますと、交付確定予定額に関する疑問とか質疑はほとんどありませんでしたので、結論としてこれを交付確定させるということでもよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【中川会長】 ありがとうございます。私も一委員としてだけのコメントというか感想を述べます。以前の応募団体の間口の広さに比べてシャープになってきているという面がありますが、それは反面、しっかりした団体でないとマイサポ団体になれないと思わせる反対効果もあるので、どんどん新規団体の方来てください、お申込みしてくださいという呼びかけは必要かと思います。と言いつつ、それぞれの団体の質の高さというのはかなり信頼性が高いと思います。特に市民公益活動の中で、とにかく社会的少数者というか、ソーシャルマイノリティーに対する目配りというか、あるいはアクションというのが生駒市民の活力の中にたくさんあり、これは非常にレベルの高い都市だということを示していると思います。団体のレベルが高いから、あんな高いレベルじゃないと駄目なのかと思わさないように、もう少し若い団体もご指導していただいて、どんどん来て下さいという呼びかけが必要だと思いますので、そういう両極化にならないように配慮が必要だと思います。

それから、北浦委員がおっしゃった、支援金額が低いのにどうしてこんなにたくさん書類を書かないといけのかという思いはやはり市民側にはあると思うので、例えば金額に

一定の線引きをして、一定額以下やったらこれだけで結構ですみたいなことはできないかと、検討してみてください。

【事務局】 はい。ありがとうございます。

では、事務局の方から報告させていただきたいことがあります。お手元の方にマイサポいこまのチラシを置かせていただいております。

こちらの方ですが、自主学习グループ180団体を主に、今まで公益活動をされていなかった方に対しての啓発をさせていただいております。今報告にありましたが一棋会、この団体は自主学习グループでしたが、今回公益活動でマイサポいこまに参加されました。そこで、この活動を例にあげてマイサポいこまへのお誘いをチラシに入れさせていただきました。

裏面ですけれども、今年度は、合同説明会ということで、例年毎年2回団体にマイサポいこまの制度を説明する機会を設けておりましたが、今回は合計7回、5会場でさせていただくということで、より密に、より親しみやすくお話ができるというような形にしております。広報にも載せています、たくさん来ていただけるようにこのような形で来年度進めていきたいと思っております。

ただ、かなり早い段階での説明会開始となります。最初が2月10日ですので、予算の方がまだ確定していない段階から始まります。このことは一言申し添えてお話しさせていただきたいと思っております。

先ほど書類の簡素化のお話も出ておりましたが、第3回、第4回の当審査会でもお話はしていただき、こちらからも提案させていただきまして、かなり簡単な内容に変えたものを今文書法制係の方に回しておりますので、それが通りましたら、4月から簡単に書きやすくなったものを使用いたします。支援金額別には分けておりませんが、全体的に簡単にしたものに変えてスタートさせていただきたいと思っております。

また、届出者の中から、「プレゼントをつけるなどといったことも行っていくように、進めているという段階です。

【平井委員】 やはりまず制度のPR。制度のPR、事務局もいろんなところへ行って一生懸命行ってきていますけれど、本当に熱が入ってやってくれているのは支援金をもらえる方々であろうと。このまま行けばこの制度がなくなる可能性も出てきていますので。というのは総合計画で目標10%と言いながら、ピークは8%ぐらいで、今は5.38%です。下がってきていますので。来年度、思いっきり力を入れて、どれぐらいPR効果で

変わるのかというところです。

支援金をいただく方々が自分らのPRをされる。自分の団体のPRではなく、マイサポいこまそのもののPRをまず行っていただいて、自分たちはこういう活動をしているということと言われるわけですから、実際に届出されている方の率は非常に低いのですから。制度そのものは本当にいい制度ですが、市民が良いことをしているなど思っているにもかかわらず、意識と行動、その行動の部分を上げるためのPRをやっていただく。

【平井委員】 やはりこういう市民参画型というか、参加型の関係、これを活性化させるとするのは、いろいろ冊子類も簡素化、見やすくというのももちろんそうですが、やはり動き、ビジュアルというか、パフォーマンスも大事です。

【中川会長】 そうですね。それと、各団体に声かけしていただくということ等も大事ですけど、いわゆる新規団体を開発する努力は毎年していかないと。今参加している団体のお相手をするので精一杯の面もありますけども。仕事が増えるのは大変ですけども、もっと団体来てくださいというふうにししないと制度的に危なくなってしまうと思います。

【中川会長】 生駒は良い団体が多い。悩みがあんまり生まれにくい。悩まなくても良い団体が多いと思います。

こういう恵まれた市民層、恵まれた都市イメージのところに来たのを、これをチャンスとして、一気に団体自治の強化、内部合理化、住民自治の定着強化というところに政策の手を打っていかないと、いい気になっていたらあつという間に5年で下り坂になりますよ。超高齢化はここまで襲ってきますからね。

【平井委員】 今が生駒市で一番市民活動が充実している時期という見方もできますのでね。

【中川会長】 できます。

【平井委員】 やっぱり各団地でも後継者がいらっしやらないです。だから、今団塊の世代の人たちが頑張ってくれていますけども、その次を背負う人がね。だから、大規模開発の関係というのは、同じぐらいの世代の方が入ってこられるから、そのまま高齢化されたときに次を継続できる人たちがなかなかおられないという大きな問題がありますよね。

【中川会長】 最初、人口構成が二重キノコ雲形になるのですが、子ども達が出て行ってしまおうと一重キノコ雲形で、直下型高齢化社会になっていく。

【平井委員】 優秀な方が多いので、海外に仕事に出て行かれる方も多いのですから、な

かなか親と同居というの少ないですし。

【中川会長】 とてもすぐれた市民層を抱えている都市だと思います。

ありがとうございます。それでは、その他ありますか。

【谷野委員】 マイサポいこまのチラシは、すごくいいと思っています。それで、たくさん載っているのではなくて、1つのところの事例で。全ての団体さんに配ったりはしないのですか。このチラシというのはどういうタイミングでどういう回数で出るのかなと思ひまして。

【事務局】 現在180団体に配りました。それと自主学習団体以外にも、学校教育の方が管轄している団体やみどり公園課が管轄している団体の方にも、数は少ないですが、折あるごとにご紹介していただくように依頼しております。この後には説明会や公共施設での配布です。あと、当センターに登録されておられます団体が約80団体でございますので、そちらの方にもお知らせさせていただいております。

【谷野委員】 とても分かりやすくいいと思いますし。もっと関係団体だけではなく、これからやりたい方々にも見られるような形であれば、やってみようかなと思われる方が出てくると思います。

【事務局】 ありがとうございます。施設については置いていただける様に依頼したいと思ひます。ありがとうございます。

【平井委員】 チラシのことですが、分かりやすく見やすい物を作ってくれましたので。同じ団体ばかりになってもということで、広げる、そういう意味で市民活動推進課、所管の団体だけではなく、市には様々な団体がありますので、教育委員会や都市整備部の抱えている団体なども、そちらの方にもすべて案内するように。

【谷野委員】 あと、下に「生駒市が宣伝をお手伝い」と書かれているのがすごく魅力です。自分たちで宣伝するとすごく大変なので。

【平井委員】 なかなかうまい表現でまとめてくれていると思ひますが。読み手にしてみると、生駒市が宣伝をお手伝いとした場合、今おっしゃっていただいているようにいい評価もしていただけると思ひますが、もともと生駒市がそのあたりもPRするのは当たり前ではないのかと。

【谷野委員】 そこまで思っていない方々が多いのではないですか。

【平井委員】 見てくださったら、すごくいい制度だな、いいことを行っていると思ひただけですが。ただ、届出されない方は、行動が伴わないですからね。自分一人届出

ても、あんまり変わらないだろうという考えがあります。ですから、関係団体の方にしてみたら、こういう制度をうまく活用してみようかと行ってくれることはありがたいし、どんどん活発に届出してくだされればいいですが、支援される側というのは対象の市民、やはり少し意識と行動のギャップというのか。

【谷野委員】 裏側にファクスか何かで個別相談会希望とか書くところがあるとそのまま出せていいですよ。

【中川会長】 それと、財政当局等に対してお話しされるときに、これは市民を助ける制度ではないという。市民社会を活性化してトータルな自治のコストを下げていき、潜在的なエネルギーを引っ張り出すための投資だという発想でもっと訴えるべきだと思います。

【平井委員】 はい。財政の立場ですから、できるだけ無駄な経費は削るというのは、基本の仕事ですけども、市民参画、まちづくりをすると余計な手間暇、時間がかかるというようなタイプの人からすれば前へ進みません。市民目線といいますか、市民と一緒にまちづくりを進めるという、市民の努力というのを身近に感じるというのは非常に大事ですので。

【中川会長】 市民参画の参画・協働というのは何のためにするのかといたら、結局経営コストが下がるということです。手間暇かかるように見えますけども、経験者がだんだん増えてきたら何も言わなくても出来るようになっていきます。非常に協力的で、この町のためだったら貢献したいという市民層が増えていくわけです。幻想を持っていたらダメですよ。全ての市民がそうなるのは不可能です。僕はいつも言っていますが、たった1%でいいと。そういう本物の根性が入った、この町が大好きという市民を作る戦いだと言っています。1%作れたら町は変わります。それをコミュニティ政策とこういうアソシエーション型NPO政策の両方で攻めていくのが参画協働担当課の仕事ですね。今までは各部署がばらばらに努力していたのを今度は重ね合わせていくというふうにしなないと。

ほか、何かございますか。

【谷野委員】 すいません。先ほどのチラシの件ですが、業経費と交付決定額のところ、ここが総支援者数で交付決定額5万4,820円となっていて、要するに総支援者数だと1万1,504円の支援があったけど、交付希望が6万ぐらい、5万4,820円だったのでこの額になったということですよね。もしほかだったら、例えば生駒市スカウト協議会は272人も支援して18万3,000円ですけど、希望額が9万5,000円だったので、これ見ると、交付決定額ってこれぐらいしか出ないのかという印象が出てしまうというの

で、例えば生駒市民劇団シアター生駒は三十何万円そのまま出て、自己資金が4万円ぐらいで済んでいますし、その辺にもう1行何か加えてられてもいいと思います。逆にこの5万4,820円は少な過ぎる希望額なので、支援はたくさんおありなので。これを見ると、この割合で3分の1ぐらいの経費を出してくれるのかというように見えてしまうので。

【中川会長】 事業経費の間に、交付決定の間にやはり希望額を入れておいた方が良いですか。

【谷野委員】 支援者数のところに支援額を。

【中川会長】 そうですね。やはりマイサポを利用しておられる団体をもっと元気づけてください。

—— 了 ——